

えんど久子前市議など生活と健康を守る会 別府市と話し合い

安心して最期を迎えるために

1月17日、別府市生活と健康を守る会の会員のみなさんとえんど久子県議予定候補は、要望書への回答を受け別府市の各担当者と協議しました。

葬儀のサポート事業を

生活と健康を守る会は「一人暮らしなどの低所得者が尊厳のある葬儀を行えるように、横須賀市のエンディングプラン・サポート事業などを参考に検討して下さい」と要望。この事業は、ご自身で選んだ協力葬儀社とあらかじめ生前契約し葬儀にかかる費用20万6000円を預けておけば安心というものです。別府市の回答は「先進地や県下各地の動向を見たい」というものでした。

葬儀について会員から「一人暮らしの場合は？」など多くの質問があり活発に話し合われました。

中学生まで通院無料化を

「子どもの医療費助成制度は、中学生までの通院無料あるいは助成が県下18市町村中12市町村で実現し、杵築・国東でも中学生までの無料化の方向だ。残るは大分・別府・宇佐・中津となった。別府市はまだ就学前までだが、早く実現を」とえんど久子は強く求めました。「別府市独自では少なくとも1億円はかかり難しい。引き続き国や県に要望していく」との回答でした。「豊後高田市は高校生まで無料となる。別府市が最後にならないように」と重ねて求めました。

実現のために力をあわせ署名を広げましょう。



児童クラブ2ヶ所増やす

放課後児童クラブの充実についても要望。来年度は境川第3クラブ・朝日第4クラブの2クラブを増やす予定と回答。要望してきた就学援助の入学準備金は3月までに支給できることが決まりました。

奨学金の充実も要望。別府市高等学校奨学金は195人に6500円、7000円を贈与、大学奨学金は月4万円を4人へ貸与しています。

中央はえんど久子別府市生活と健康を守る会会長。
ひとまもりおでかけ支援事業（ワンコインバス）の改善、国保税の引き下げ、年金の引き下げは行わないように、などを求めました。
2018. 1. 17. 別府市役所内

日本共産党 県政ニュース

別府市石垣西8-2-31
日本共産党北部地区委員会
発行責任者 えんど久子
Tel.0977-22-6576

No.14
2018.1.24.

えんど久子など生活と健康を守る会大分県と話し合い 人間らしく暮らす権利を守ろう

生活保護の改悪中止を国に求めよ

1月22日、生活と健康を守る会大分県連合会は、「憲法25条で規定された生存権保障を真つ向から否定する生活保護扶助基準の引き下げ撤回を政府・厚生労働省に要求

クーラーも暖房も辛抱して

えんど久子は「保護受給者は、夏はクーラーを我慢して少しでも風が通るところを探して過ごし、冬は暖房や電気を節約して早い時間から布団に入り暖を取る。今でも人間らしい暮らしとは言い難い切実な状況だ。これ以上の引き下げを行わないよう急いで国に意見を上げてほしい」と強く求めました。

参加者は「軍事費は5兆円を超え湯水のように税金から

すること」などを大分県に要望しました。

担当する地域福祉推進室長などが出席し、守る会の県連理事らと話し合いました。

つぎ込む一方で社会保障の自然増分は1300億円も削減とはひどい」など、口々に訴えました。

県の室長は「みなさんのご意見は国に伝えたい」と答えました。



ご存知ですか？

ゴミの福祉収集

えんど久子が市議時代に市議会でも求めてきたゴミ出しが困難な方の玄関先でのゴミ収集が実現しました。詳しくは市役所環境課へ。

問合せ先
市役所環境課
0977-66-5353

福祉収集とは

家庭から排出されるゴミ等を所定の場所へ出すことが困難な、高齢者、障がいを持つ方で対象基準を満たし、行政支援が必要とする人（世帯）を対象に、ごみ・資源物を玄関先で収集する事業で、申請が必要です。

対象となる人（世帯）

市内に居住し、所定の排出場所へゴミ等を持ち出すことが困難で、地域や親族等の協力が得られない、次のいずれかに該当する65歳以上の高齢者または障がい者。

- 1 要介護認定を受けている単身者または認定者のみの世帯
- 2 障害手帳などをお持ちの単身者または障がい者のみの世帯

収集するごみ

もやすごみ、もやさないごみ、資源物（缶・びん・ペットボトル・古紙・古布）